

ATAMACADEMY  
基礎課題

りんかく  
輪郭

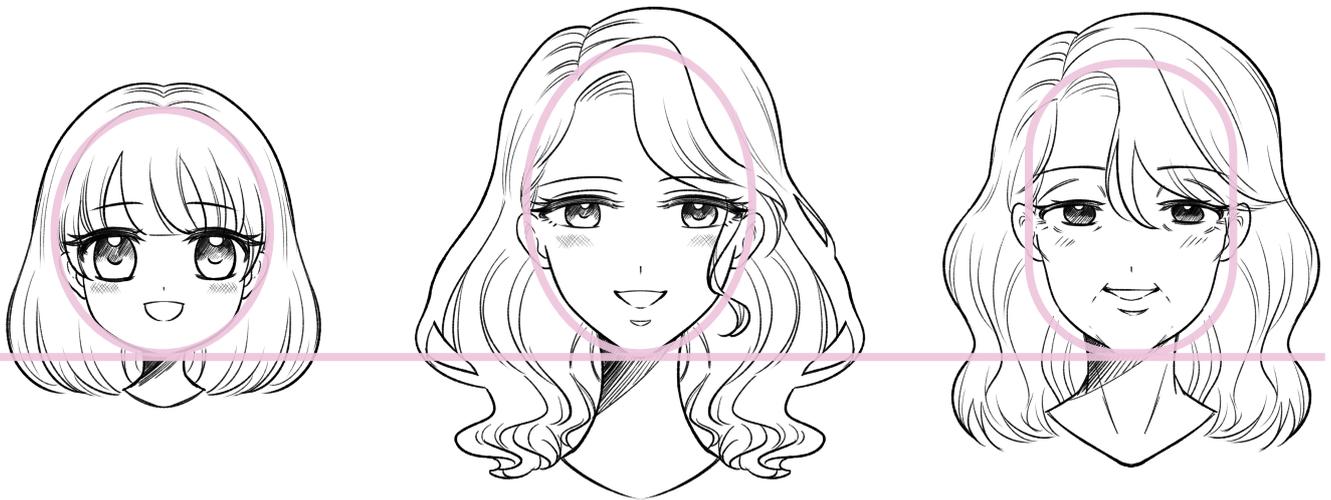


## 輪郭（りんかく）

### ■ 顔の輪郭を年れい別でみる

人の顔は年を重ねるほど輪郭も、パーツも形が少しずつかわっていきます。ここでは顔の輪郭を中心に、年れい別の描き分けについてお話しします。

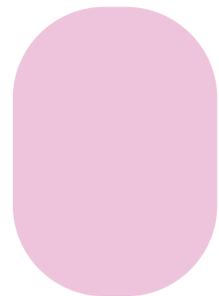
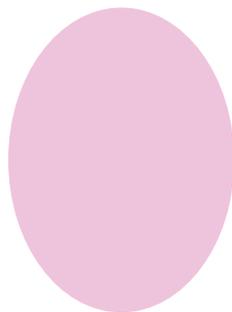
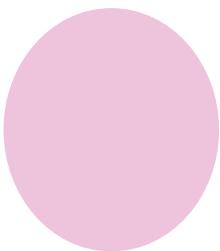
男女共通の世代のとくちょう ※あごでラインをそろえています



こども

大人

老人



- ・ 顔が丸に近い
- ・ ほほや顎のラインが丸い
- ・ 顔のパーツが真ん中から、下に集まっている
- ・ 目は大きく、丸みがある

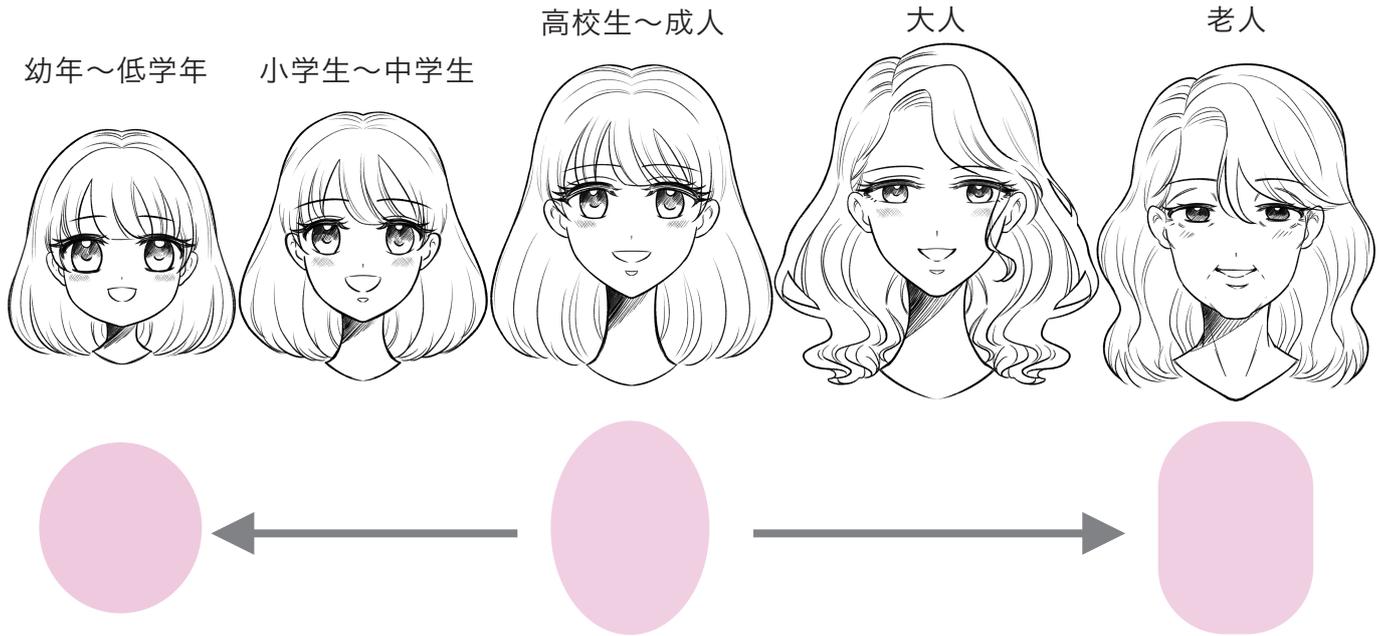
- ・ 顔が長円形
- ・ 目と眉のキョリが近い
- ・ 目と鼻の距離が長くなる
- ・ あごの形がはっきりする

- ・ 顔は少し長方形のイメージ
- ・ よく動かすパーツはシワになりやすい。
- ・ お肉の多い部分はたるみにつながる。
- ・ 髪や肌のハリが減る

# 輪郭（りんかく）

## ■年れい別、女性のかき分け

成人女性を中心に、若くなると顔の形は「正円」に近づきます。年を取ると「四角」に近づきます。



女性は男性と比べて、どの年代でも「丸み」や「やわらかさ」を意識しよう

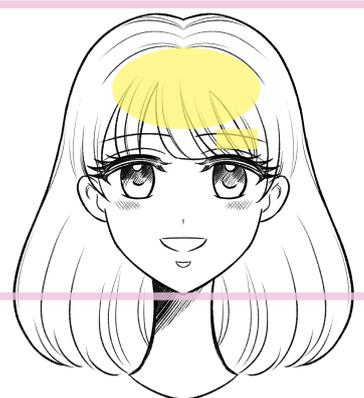
まだ顔の整っていない子どもは、  
**パーツが顔の「半分から下」**に集まります。なので、**大人よりも「おでこが広い」**イメージで描きましょう。  
**目とまゆの「間」も大人に比べ**広いです。丸みを意識しながら、子どもを描きましょう。

## とくちょう 子どもの特徴

幼年～小1



高校生～成人



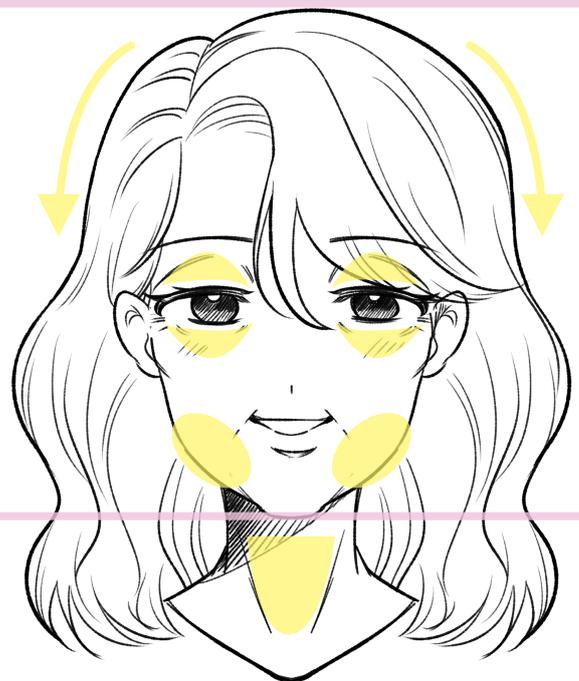
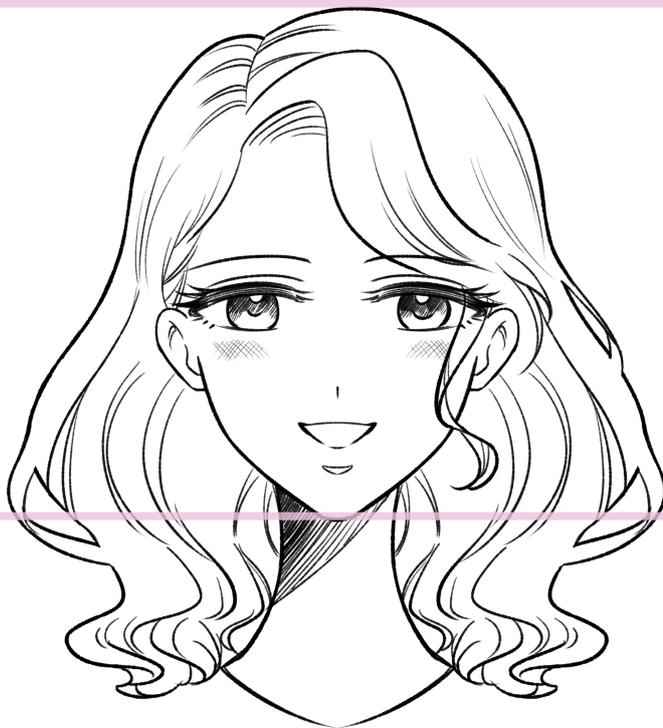
※顔のサイズを合わせています

## 輪郭（りんかく）

歳をとるほどほほの丸みや肉が薄れていくので、老人になるとほお骨など骨の形が見えやすくなります。またほほを薄くする代わりに口周りの輪郭を少しふくらませることで、老人特有の肉のたるみを表現でき、より歳を重ねたやわらかい、ふんいきを描くことができます。

大人

老人



### とくちょう 老人の特徴

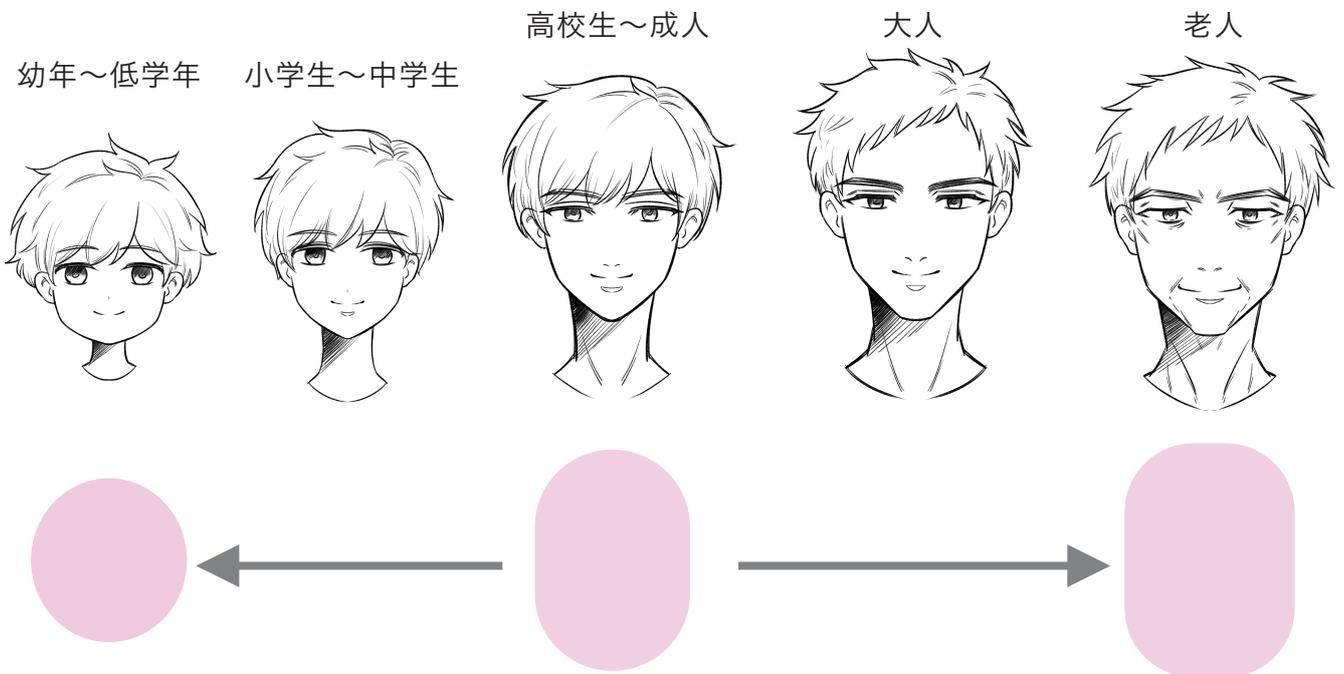
- ・重力によって、脂肪の多い部分は「たるみ」やすい。ほほ・まぶた・おでこ・首など。
- ・よく使う部分は「シワ」になりやすい。目じり・口元など。
- ・ハリつやが減るため、かみの毛のボリュームが落ちる

**ヒント** シワやたるみなど「線」で表現が難しい場合は、陰影などの色の変化で表現しよう。

## 輪郭（りんかく）

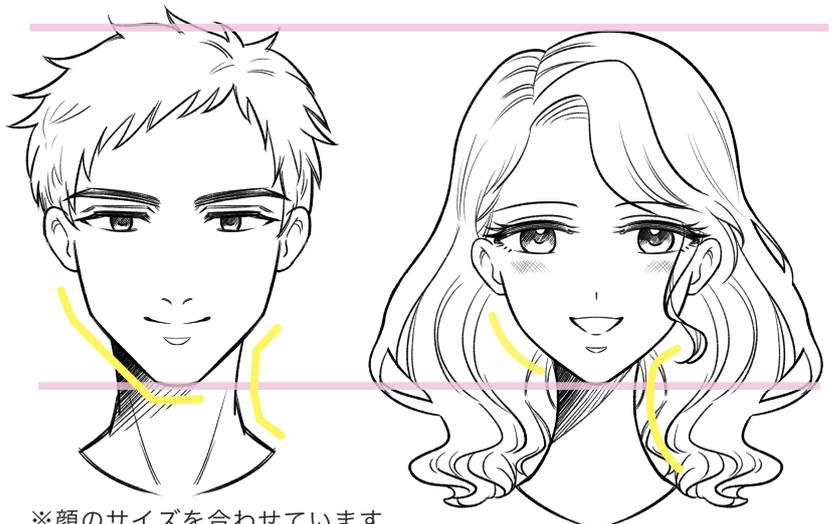
### ■年れい別、男性のかき分け

男性のは、幼少時ははっきりとしたほほの丸みがありますが、高校生～成人の頃から「あご」のとがりや幅をいしきします。また、女性に比べ「筋肉質」なので「直線的」に描くと男性「らしさ」の表現になります。



### とくちょう 大人の男性の特徴

男性の骨格は、女性のより張っています。直線的で、角のある輪郭をいしきしよう。



※顔のサイズを合わせています

## 輪郭（りんかく）

年老いてくると男性は、あごの骨がより骨格的になります。全体的に肉がそぎ落ちたような輪郭にするといわゆる“イケオジ”が描けます。女性的なやわらかさを持たせると「優しい」おじいちゃんに見せることができます。



### とくちょう 老人の男性の特徴

やせている場合、大人に比べほほがコケた印象になります。

標準の場合は女性と同じく、ほほにたるみを作ると良いです。